

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	鹿島市			代表者名	松尾 勝利
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	政策総務部DX推進室	連絡先電話番号	0954-68-0140
担当者役職	一般職員	担当者氏名	一ノ瀬 慶太	連絡先E-mail	
住所	849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	生成AI活用人材の育成・DX戦略の着実な取組推進
概要	生成AIを活用できる職員及びDX戦略の着実な取組(各分野の取組)を推進できる職員の育成を目的とした職員向け研修		
支援を求める分野	EBPM生成AI活用 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 働き方 子育て 医療・介護・健康 農林水産業		

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	25	令和6年6月19日	事前打合せ	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年6月18日	事前打合せ(オンライン)	10時00分	12時00分	
				活動時間(分)	120
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"><li>本市の生成AIの運用状況について、中々利用が進まないという課題に対して、費用対効果の高いツールの提案など、今後本市が利用を推進していく上での参考となった。</li><li>今回の研修について、川口様へ本市の狙いを汲み取っていただいていることが分かり、職員が「生成AIを活用したい」と思い、行動に繋がるような内容になるのではないかと感じた。また、アクションプランの仕組み、評価が大切だということも、職員に対して意識づけに繋がるのではないかと感じた。</li></ul>
アドバイザーへの要望事項	特になし

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	2人	
	属性 自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	2	0	0	0

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>全庁的に生成AIの利活用が進まない。</li><li>DX戦略のアクションプランについて、庁内各課の着実な推進ができていない。</li><li>担当課としてDXを進めていくうえで、専門的なアドバイスを受けることができていない。</li></ul>
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>7/10~11の職員研修について、事前打合せを行い、生成AIの必要性や活用方法、アクションプランの進め方などの認識共有を図るために、より効果的な研修にする。</li><li>これからのDX推進にあたっての施策についてのアドバイスを受け、今後事務局としての進め方の参考としたい。</li></ul>

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生成AIのツールは様々あるが、何にするのかも重要。LoGoチャットのAI-botは限界があり、通常のChatGPT-4oが費用対効果が高いという助言を受けた。やはり、「利用してください」というなりの機能性も重要視すること。</li> <li>アクションプランの構造を職員が理解するには訓練も必要。今回の研修では、アクションプランを効果的に進める方法にも触れ、「職員の心にささるような研修」を実施する。</li> <li>文書管理システムの導入について、全庁での運用方法（添付資料の電子化の有無など）についてもご教示いただき、来年度の導入に向けて参考となった。</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生成AIの今後のツール選定について、知見を広げることができた。</li> <li>より効果的な職員研修になるような研修内容の認識合わせができた。</li> <li>今後、アクションプランをどのように進め、施策に取り組んでいくのか、担当部署としての意識すべきポイントを確認できた。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>生成AIを職員がオフィスツールのような感覚で、利用している状態。</li> <li>DX戦略のもと、各担当課で具体的な取組が進められ、「実効性のある取組」が全庁的に進んでいく状態。</li> </ul>	

具体的にご記入下さい。  
支援を受けた事業が成果に  
因(自治体側に内在していた)

具体的にご記入下さい。  
支援を受けた事業が成果に  
因(自治体側に内在していた)

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

